大飯発電所3号機の定期検査状況について (原子炉容器上部ふた制御棒駆動装置取付管台からの漏えい)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所 3 号機(加圧水型軽水炉;定格電気出力118.0万kW)は、第10回定期検査中の 5 月 4 日、原子炉容器上部ふたに取り付けられている管台全数(70箇所)の外観目視点検*¹を行うために、その準備作業を行っていたところ、制御棒駆動装置取付管台(47)の付け根付近に白い付着物が発見された。

当該管台を点検した結果、付着物は管台の周囲に認められ、その主成分はほう酸であることが確認された。このことから、当該管台からの漏えいであると判断した。

また、他の管台(69箇所)についても点検を行ったところ、新たに原子炉容器温度計測用素子ハウジング管台(67)の側面や付け根付近に付着物を確認した。

今後、 47管台について詳細調査を実施するとともに、 67管台の付着物が漏 えいによるものかどうか調査する。

この事象による環境への放射能の影響はない。

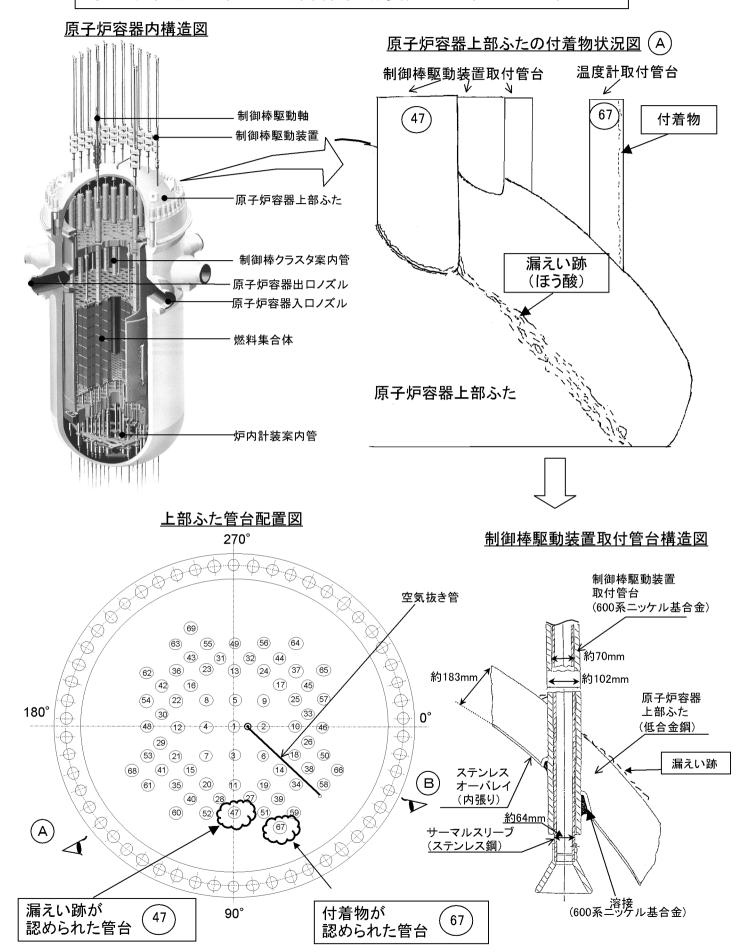
* 1:国内外のPWRプラントにおいて、600系ニッケル基合金を用いた1次冷却材系統の溶接部で応力腐食割れが発生した事例に鑑みた点検。

(経済産業省によるINESの暫定評価尺度)

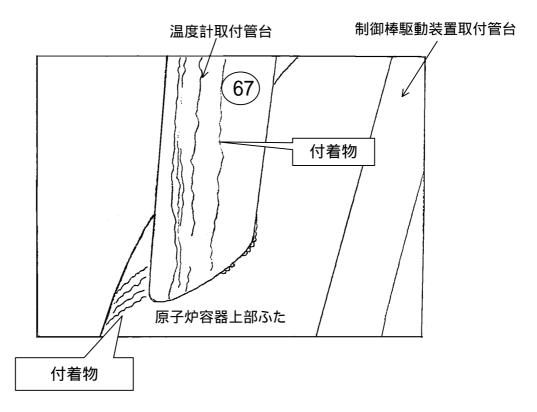
基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
-	-	0 -	0 -

問い合わせ先(担当:伊藤,小西) 内線2354・直通0776(20)0314

原子炉容器上部ふた制御棒駆動装置取付管台の点検状況



原子炉容器上部ふたの付着物状況図(No.67管台) B



温度計取付管台の構造図

